

教育研究業績書

令和5年5月8日

氏名 小泉 誠 

教育上の能力に関する事項

事項	年 月	概要
1 教育方法の実践例	2017年4月	大学院講義「発達心理学特論」において心理検査 WISC、描画法について実際の検査道具を用いて実践的に指導を行う。（現在に至る）
2 作成した教科書・教材	2017年4月	人生の学びにつなげる家族心理学 土肥伊都子（編）4章3節 「育児ストレス」 ・事例学習（pp.82 - 85・p.107）執筆担当。
3 教育上の能力に関する大学等の評価		特記事項なし
4 実務の経験を有する者についての特記事項	2016年4月	高校への出張講義を通して、心理学入門講座、カウンセラーの職業説明などを行っている。（現在に至る）
5 その他		特記事項なし

職務上の実績に関する事項

事項	年 月	概要
1 資格, 免許	2010年4月 2019年2月	臨床心理士(21909)。 公認心理師(22215)
2 学校現場等での実務経験	2021年7月	大阪府内高校において、出張講義を通してインターネット依存関する心理教育を行った。
3 実務の経験を有する者についての特記事項	2008年4月 ～現在	臨床心理士資格取得以前から、精神科病院で臨床実践に関わる。資格取得後も、精神科、児童精神科、児童養護施設、学校、教育相談センターなど様々な施設で臨床実践に携わっている。 業務内容については、心理療法を中心に、プレイセラピー、グループセラピー、心理アセスメント、訪問カウンセリング、スクールカウンセリング、デイケア業務と多岐に渡る。学校臨床、病院臨床、児童福祉臨床の各領域で非常勤での臨床経験を有する。
4 その他		特記事項なし

様式第4号 (教員個人に関する書類)

担当授業科目に関する研究業績等						
担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行年月	出版社又は発行雑誌等の名称	執筆ページ数 (総ページ数)	概要
公認心理師の職責	(学術論文等) 1. Narrative process Coding Systemによる心理療法のプロセス研究—試行カウンセリング単一事例のナラティブ分析	単 単	令和2年11月	人間性心理学研究	11	心理療法プロセスの問題点としてトランスクリプトの分析の困難さが挙げられている。それらの問題に答える心理療法プロセスの分析法として Angus et al. (1999)の Narrative Process Coding Systemがある。本研究では、この分析法を用いて試行カウンセリング事例をナラティブ分析し、考察した。結果、基本形とは異なり、クライアントが自己との対話を通して意味生成する形式が示唆された。
心理実習	(著書) 1. ひきこもりの不登校中学3年生男児との訪問面接過程Ⅱ—本人との継続的な面接が難しいケースへの対応—	単	平成24年3月	神戸大学大学院人間発達環境学研究所発達支援インテュート心理教育相談室紀要	10	不登校生徒に対し、継続的な訪問面接支援が行われている。しかし、実際の訪問面接では、本人に毎回会えるとは必ずしも限らない。本研究では訪問面接に対して抵抗を感じ、定期的な面接ができなかった事例を挙げ、クライアントに対する接し方の留意点やクライアントの母親を支える重要性について述べた。
心理演習	(著書) 1. ひきこもりの不登校中学3年生男児との訪問面接過程Ⅱ—本人との継続的な面接が難しいケースへの対応—	単	平成24年3月	神戸大学大学院人間発達環境学研究所発達支援インテュート心理教育相談室紀要	10	<再掲のため、略>
社会病理学	(著書) 1. 人生の学びにつなげる家族心理学	共	平成27年4月	教育情報出版	pp.82 - 85・p.107 (6)	現代社会において問題視されている「育児ストレス」について初学者向けに解説をした。